

# 知的障害がある人とのソーシャルワーク

科目コード

DD3242



単位数	履修方法	配当年次	担当教員
1	S(講義)	2年以上	三浦 剛

※この科目はオンデマンド・スクーリングのみ開講いたします。

※スクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリング申込みが必要です。

## ■スクーリングで学んでほしいこと

【はじめに、このシラバスでは今日においては差別（不快）用語が使用されるが、それは当時の社会、人々のもつ知的障害への意味を明確にしようとするために、必要であると考えからである】

知的障害の概念は、その時その時の社会の状況によって変化している。地元の身近な道化から、被扶助者、白痴者、収容者などである。ようやく1960年代に始まる人権擁護の思想の拡がりは、国際障害者年、そして障害者の権利条約へと続き、権利行使の主体としての存在を認められたとあってよいだろう。

この授業では、社会が知的障害の概念を作り変化させ、また知的障害の問題が、社会問題として顕在化してくる過程を踏まえて、ソーシャルワークが、知的障害があるとされる人たちとどのようにかかわってきたか、これなかったのか、また、これからどうあるべきかについて考える。知的障害の概念の変化や社会問題として顕在化してくる過程とソーシャルワークのかかわりについて学んで欲しい。

## ■到達目標

- ・「知的障害者」といわれる人たちが、社会の中で、これまでおかれてきた、そして現在おかれている状況を説明できる。
- ・同時に、彼ら、彼女らへの「かかわり」の、これまでと現在を説明できる。
- ・これからの、彼ら、彼女らとのソーシャルワーク支援のあり方について、これまでの到達目標を踏まえ、自分の意見を述べることができる。

## ■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	はじめに 私と知的障害	授業のオリエンテーションおよび担当者がこのテーマに取り組む経緯と、これまでおこなった研究と実践について紹介する。
2	「知的障害」の概念の変遷①	知的障害が社会との関連において取り上げられる最初、救貧制度までと、救貧制度下の知的障害者への視線について講義する。
3	「知的障害」の概念の変遷②	被扶助者という位置、また「白痴教育」の進展と生産人としての可能性の追求、しかしまた「恒久保護」のはじまりともなったことについて、社会がどのように彼ら彼女らを視てきたか講義する。
4	社会問題としての認知と対応①	知的障害がある人を「脅威」として社会的に認知する過程と、その結果、隔離や断種がおこなわれたこと、優生思想について講義する。

回数	テーマ	内容
5	社会問題としての認知と対応②	そのような状況下でのノーマライゼーションにつながる理念の萌芽と権利宣言、国際障害者年への過程。差別禁止、権利擁護の始まりについて講義する。
6	ソーシャルワークとのかかわり	救貧制度から、人道主義的諸活動としてソーシャルワークが生まれ、今日の権利擁護、ソーシャルインクルージョンへと展開する過程で、知的障害がある人とどう関わったのか、どのような視線が向けられたのかについて、講義、検討する。
7	これからの「知的障害がある人とソーシャルワーク」	マイクロレベルで彼らの「意志」をどうとらえるか、メゾ、マクロレベルでソーシャルインクルージョンをどう実現することができるだろうか、知的障害がある人とのかかわりに、ソーシャルワークの本質があることについて講義する。
8	まとめ	
9	スクーリング試験	

### ■講義の進め方

- ・パワーポイントおよび配付資料を中心に講義を進めます。
- ・どこかに正解が書いてあることを説明する授業ではありません。みなさんと一緒に考える授業です。
- ・自分の考えを説明できるように、授業内容を把握するに止まらず、しっかり考えてください。

### ■スクーリング 評価基準

スクーリング試験100%

とくに到達目標記載内容についての理解を問います。

### ■スクーリング時の教科書

スクーリングにあたって教科書は使用しません。資料を配付します。

### ■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

- ・「知的障害」とはなにか、自分なりの「定義」を作ってから、スクーリングに臨んでください。
- ・また、障害者福祉論や社会福祉援助技術総論などで学習した、ソーシャルワークや障害者支援の歴史的展開について確認しておいてください。

### ■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

スクーリング時のノートを整理して、担当教員が強調していたことを確認してください。

### ■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「問題解決力」を身につけてほしい。

### ■参考図書

- ・中野敏子著『社会福祉学は「知的障害者」に向き合えたか』高菅出版、2009年
- ・J.W トレント Jr. 著、清水貞夫、茂木俊彦、中村満紀男監訳『「精神薄弱」の誕生と変貌（上・下）』学苑社、1997年